

[第101回研修会] 事例・研究報告会報告

研修部

日時：2003年3月27日（木）10：00～12：00

場所：ペアーレ神戸

プログラム：

1. 病院図書館への iLiswing21 導入事例
大阪府立母子保健総合医療センター
中村雅子
2. 病院図書室と私
—この一年をふりかえって—
石切生喜病院
松尾知香
3. 近畿病院図書室協議会統計調査
藍野学院短期大学
増田徹
4. 研修会参加者動向分析
社会保険神戸中央病院
林伴子、ほか

参加者数：27名

今回の研修会では上記のように演題4題が発表された。

第1席では、院内 Lan での「図書システム」の導入事例として、導入から実際に使用した結果の状況報告があった。新しいシステムの導入に際して、事務サイドの理解を得ることが困難であり、それでも図書館の要望を伝えていかな

ければならないことを改めて考えさせられた。

第2席は新任図書館員としての奮闘ぶりがよくわかる発表であった。開室時間の延長など、あらたな活動を開始されており、図書館員としての今後の活躍に期待したい。

第3席・第4席では、幹事として今年度携わってきた事業からの報告があった。

統計調査については、調査用紙・報告書・データ処理の変更など、今までとは異なり、個々のデータがわかるようになった。当協議会の会員には病院だけでなく、看護系専門学校から大学まで、設立主体の異なる施設が含まれている。それを平均値からの統計のみを見るだけでは、実情を十分に把握できなかったといえる。今後、各会員の意見を踏まえてよりよい統計調査を目指したいとのことであった。

研修部からの報告では、今まで参加者数の集計報告は行ったことがなかったので、現研修部員が関わってきた研修会・勉強会を中心に集計し、参加の動向をチェックしてみた。今回の調査では会員の8割近くの施設からの参加があることがわかったが、継続しての参加が少ないことも問題点として残った。

(文責：林 伴子/社会保険神戸中央病院)